

# 園芸タイムリー情報

## 《9月中・下旬版》

令和3年 9月 17日発行 第9号  
 上川農業改良普及センター  
 Tel: 0166-84-2017 Fax: 0166-84-2009  
 E-mail: asahi-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp  
 HomePage: http://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm

### 全作物共通

天気は数日の周期で変わり、平均気温はほぼ平年並みで、降水量は平年並 少ない見込みです。

- ①ハウスは、外気温が徐々に低下し、夜間の気温も下がってきます。気象条件や生育に合わせた灌水や肥培管理、こまめな換気による適温・適湿の確保等、生育環境を整えましょう。
- ②強風や大雨に備えて、防風網の点検、ハウスの修理や補強、排水溝の掘り下げなど防災環境を整えましょう。
- ③病害虫の発生に引き続き注意し、適切な薬剤防除を行いましょ。薬剤防除の時間が遅くなると、薬液の乾きが不十分となるため、薬液が乾く時間帯に散布を行いましょ。
- ④気象条件やほ場条件により、作業が進まないと無理が生じ、事故の要因となる可能性があります。余裕を持った無理のない作業計画を立て、健康状態を確認して作業を開始しましょ。

※本資料に記載の農薬や資材は「地域で推奨するもの」を使用し、倍率や収穫前日数に十分留意して使用してください。



作物名	あぶらな科野菜全般	
病害虫 生理障害名		
キスジノミハムシ		
発生状況	こまつな葉部食害	
中発生	ラデッシュ根部食害	
発生時期	キスジノミハムシ成虫 (体長2~3mm)	
5月下旬~		
発生の状況・要因		
<ul style="list-style-type: none"> <li>成虫は葉、幼虫は根の表皮を食害する。</li> <li>5月下旬から成虫の発生が見られる。</li> <li>8月以降は被害が多いので注意する。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>●成虫期間：1~4ヵ月</li> <li>●卵期間：5~7日</li> <li>●幼虫期間：10~20日</li> <li>●蛹期間：3~15日</li> </ul>		
対策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>成虫の多発時は防除効果が劣るため、ほ場をよく観察し、発生初期防除に努める。</li> <li>土壌施用剤は、土壌水分が極端に低下すると効果が劣るため、かん水管理に留意する。</li> <li>ハウス内外の雑草や残さを適切に処分し、発生密度を高めないようにする。</li> </ul>		
<防除の一例>		
こまつな		
●フォース粒剤 4kg/10a は種時全面土壌混和 1回		
チンゲンサイ		
●スタークル粒剤 6kg/10a 定植時土壌混和 1回		
チンゲンサイ・ターサイ・みずな・こまつな		
●モスピラン顆粒水溶剤 4,000倍 収穫7日前まで1回		


作物名	あぶらな科野菜全般	
病害虫 生理障害名	コナガ成虫	
コナガ		
発生状況	少~中発生	
発生時期	コナガ幼虫	
5月下旬~		
発生の状況・要因		
<ul style="list-style-type: none"> <li>幼虫が葉裏に潜み、葉の表皮を残して食害する。</li> <li>病害虫防除所の情報によると、比布町の8月の成虫の飛来数はほぼ平年並みである。</li> <li>9月上旬は引き続き幼虫による被害が散見される。</li> </ul>		
対策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ほ場内外の雑草をこまめに除草する。</li> <li>防虫ネット(目合い1.0mm)を、侵入口となる隙間を作らないように設置する。</li> <li>ジアミド系(プレバソフフロアブル5等)への薬剤抵抗性個体群の出現があり、防除効果が劣る場合は他系統の薬剤に切り替える。</li> </ul>		
<防除の一例>		
●プレオフロアブル(品目ごとに登録内容が異なるので注意)		
こまつな・みずな： 1,000倍 収穫前日まで 2回以内		
チンゲンサイ・ターサイ：1,000倍 収穫7日前まで 2回以内		

作物名	あぶらな科野菜など葉菜類全般
病虫害 生理障害名	ウスカワマイマイ
ナメクジ類 カタツムリ類	
発生状況	
中発生	
発生時期	チャコウラナメクジ
4月中旬～	
発生の状況・要因	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ナメクジ・カタツムリは、ほ場周辺の雑草地、苔の下、日陰など暗くて湿気の多い場所を好み、地中で越冬する。</li> <li>葉の食害の他、本体やフンの混入が問題となっている。</li> <li>雨天時や夜間は活発に活動する。</li> <li>9月以降は発生が増加しているため、注意が必要である。</li> </ul>	
対策	
<ul style="list-style-type: none"> <li>常発ほ場では通気を良くして湿気を放出する。</li> <li>ハウス内外の雑草や苔をこまめに除去する。</li> <li>スラゴを使用する場合は作物周辺あるいは株元の土壌表面に散布し、作物に付着しないように気をつける。</li> </ul>	
<防除の一例> ●スラゴ 1～5g/m <sup>2</sup> (3.3～16.5g/坪) 発生時	

作物名	トマト・ミニトマト
病虫害 生理障害名	灰色かび病
発生状況	 
少発生	
発生時期	がくから感染した 発病果実
—	葉の病斑とかび
発生の状況・要因	
<ul style="list-style-type: none"> <li>低温多湿時に発生が増加するため、今後は注意が必要である。</li> <li>夜温が低下し、昼夜の温度差によって結露が生じた果実等で発生する場合が多い。</li> </ul>	
対策	
<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間の温度確保により昼夜の温度差を小さくし、日の出後は短時間でも換気を行い湿度を低下させる。</li> <li>発生した茎葉や果実は見つけ次第取り除き、ほ場外で処分する。</li> </ul>	
<防除の一例> 予防的に散布	
●ダコニール1000 1,000倍 収穫前日まで トマト 4回以内、ミニトマト 2回以内	
●ベルコートフロアブル トマト 2,000～4,000倍 収穫前日まで 3回以内 ミニトマト 4,000倍 収穫前日まで 2回以内	
発生後の蔓延を防ぐ	
●シグナムWDG 2,000倍 収穫前日まで 2回以内	

作物名	パセリ
病虫害 生理障害名	かびに覆われた葉
うどんこ病	
発生状況	
中発生	
発生時期	白色粉状のかび
8月上旬～	
発生の状況・要因	
<ul style="list-style-type: none"> <li>葉の表面が白色粉状のかびに覆われる。</li> <li>ハウス内温度28℃前後で、乾燥した条件下で発生しやすい。</li> <li>8月下旬以降発生が増加しているため注意が必要である。</li> </ul>	
対策	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ほ場を乾燥させすぎない。</li> <li>発生前から予防的に薬剤散布を実施する。</li> <li>発病した葉は摘み取り、ほ場外に持ち出して処分する。</li> </ul>	
<防除の一例> (発生前 7日～10日間隔で散布)	
●クムラス 500～1,000倍 — —	
●サンクリスタル乳剤 300～600倍 収穫前日まで —	
(発生初期)	
●アフェットフロアブル 2,000倍 収穫3日前まで 2回以内	

作物名	ピーマン
病虫害 生理障害名	ワタアブラムシ
アブラムシ類	 
発生状況	葉裏の寄生
少発生	
発生時期	ピーマンの寄生状況 令和3年8月24日撮影
8月下旬～	
発生の状況・要因	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ワタアブラムシの発生が継続しており、発生ほ場は減少傾向にあるが、一部ほ場では個体数の増加が見られる。</li> <li>ワタアブラムシの体色は黒、緑、黄色等で、葉裏に多く見られる。</li> <li>増殖すると寄生した葉の下の葉上やマルチにべたべたした甘露や白い抜け殻が見られる。</li> </ul>	
対策	
<ul style="list-style-type: none"> <li>生長点付近の未展開の葉や葉裏に寄生している場合は、薬剤がかかりづらいので、丁寧に行う。</li> <li>多発時には寄生している葉を取り除き、個体数を減らした上で防除を行う。</li> </ul>	
<防除の一例>	
●モスピランジェット 50g/400? (床200m <sup>2</sup> ×高さ2m) 収穫前日まで 2回以内	
●トランスフォームフロアブル 2,000倍 収穫前日まで 2回以内	
●ウララDF 2,000～4,000倍 収穫前日まで 2回以内	
●チェス顆粒水和剤 5,000倍 収穫前日まで 3回以内	

作物名	ピーマン、ししとう、なんばん	
病虫害 生理障害名		
発生状況	少発生	
発生時期	オオタバコガ 若齢幼虫と葉の食害 (令和3年8月12日旭川市)	オオタバコガの幼虫 葉も食害するが果実に 食入する加害が多い
発生時期	6月下旬～	
発生の状況・要因		
<ul style="list-style-type: none"> <li>発生は少ないが、オオタバコガ、ヨトウガの両種が発生する時期なので注意する。</li> <li>いずれも成長すると食害量が増え、薬剤も効きづらくなる。</li> </ul>		
対策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>発生初期に登録のある薬剤で防除を行う。</li> </ul>		
<防除の一例> <b>ピーマン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アファーム乳剤 オオタバコガ 2,000倍 収穫前日まで 2回以内</li> <li>●スピノエース顆粒水和剤 オオタバコガ 2,500～5,000倍 収穫前日まで 2回以内</li> </ul> <b>ピーマン・ししとう・なんばん</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プレバソフロアブル5 オオタバコガ 1,000～2,000倍 収穫前日まで 2回以内</li> <li>●コテツフロアブル オオタバコガ 2,000倍 収穫前日まで 2回以内</li> </ul>		

作物名	ピーマン	
病虫害 生理障害名		
発生状況	発生に注意	
発生時期	茎葉での発生 発病部位から 上が萎れる	果実での発生 褐変し、水浸状 に腐敗する
発生時期	—	
発生の状況・要因		
<ul style="list-style-type: none"> <li>20℃以下の低温と多湿により発生が助長されるので、気温の低下や降雨の増加により発生の可能性がある時期であるため注意する。</li> <li>土壌中や被害残渣に形成された菌核が感染源となるので、春に発生の見られたほ場では予防的な対策が必要となる。</li> <li>茎葉では発病部位から上が萎れて枯死、果実では軟化腐敗、幼果では落果が見られる。</li> </ul>		
対策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>多湿が発生の原因となるので、ハウス内の換気に努める。</li> <li>発生が見られる場合は、灰色かび病と合わせて薬剤防除を行う。</li> </ul>		
<防除の一例>菌核病の登録薬剤 <ul style="list-style-type: none"> <li>●ロブラール水和剤 1,000倍 収穫前日まで ※</li> <li>●ロブラールくん煙剤 100g/300～400? (床150～200㎡×高さ2m) 収穫前日まで ※使用回数は水和剤とくん煙剤と合わせて4回以内</li> </ul>		
<防除の一例>灰色かび病の登録薬剤 <ul style="list-style-type: none"> <li>●アフェットフロアブル 2,000倍 収穫前日まで 2回以内</li> <li>●スミレックスくん煙顆粒 6g/100? 収穫前日まで 5回以内</li> </ul>		

- ◆防虫ネット・粘着シートなどを活用し、適切な栽培管理と合わせ、病虫害の発生を最小限に抑制しましょう。
- ◆農薬の使用に当たっては、使用基準を必ず守りましょう。  
なお、品目ごとの栽培防除体系を基に、化学合成農薬の使用をできるだけ減らし、クリーンな野菜生産を実践しましょう。

※この情報は、上川農業改良普及センター本所地域(旭川市、鷹栖町、当麻町、比布町、愛別町、上川町)向けに作成されています。  
気象・土壌条件・作業体系から当地域以外には、適用されませんので十分ご注意ください。(不利益・損害などが発生した場合、当方は責任を負うことはできません)  
※掲載されている農薬情報は、令和3年9月8日現在の登録内容となっていますので、活用の際は、あらかじめ安全使用基準を確認くださいますようお願いいたします。

■□■□■□■□ GAP手法の活用 □■□■□■□  
【労働安全編】

— 安全に働ける仕組み作り —

農作業を行う際の配慮

- 一日の作業に入る前には準備運動を、作業後にはストレッチなどの整理運動を行い、体調を整えましょう。
- 複数で作業を行う場合には、事前にその日の作業について打合せを行いましょう。
- 疲労が蓄積しないよう定期的に休憩を取りましょう。

倒壊等の可能性がある箇所

- 鉄コンやフレコンバッグを積み上げる作業や積み荷の上での作業は、高さ制限を設ける等して、安全に作業できる環境を整えるとともに、倒壊・転落・埋没の危険があるので十分に気をつけて行いましょう。
- 箱や袋等は、倒壊しないように、適切に組んで積み、積み過ぎや荷物の中抜きはしないようにしましょう。